

令和7年度 中央区立有馬小学校における重点目標
中央区立有馬小学校 住所 中央区日本橋蛸殻町2-10-23 校長 小林 一輝 児童数 680名 学級数23 教員数 39名 職員数 32名
教育目標 ○自ら学ぶ子 ○思いやりのある子 ○心とからだの健康な子
重点目標1 「わかった」「楽しい」を基本とし、高い学習意欲をもち自ら探究する児童を育成する。 評価項目：①「考えること」「話すこと」「聞いてもらえること」の楽しさを感じられる場面を意図的に増やした授業を構築する。 ②少人数指導やステップアップ教室の実施などにより、算数科教育を充実させる。 ③教員の教科の専門性を意識した「交換授業（高学年）」を計画・実施する。 評価指標：①各種学力調査の質問紙調査、管理職による授業参観（年2回）、OJTによる授業公開を実施する。 ②計画的な算数少人数指導の実施。ステップアップ教室を、年間30回以上実施する。 ③児童アンケートで「授業の内容は、よく分かりますか」という項目の肯定的な回答を90%以上にする。
重点目標2 「自分だけでなく、みんなが楽しい」を基本とし、人のために考えて行動することのできる児童を育成する。 評価項目：①保幼小連携や有馬エンジョイタイムなどの交流活動の充実を通して、全教員が活動ありきで無く、「活動中の心情や行動のふりかえり・次への行動目標を立てること」に重点を置き、児童の成長につなげる。 ②他の人が喜んでくれることを自分の喜びとすることができる場面の意図的な設定を行う。 評価指標：①保護者アンケートで「児童は、明るく生き生きと学校生活を送っている」という項目の肯定的な回答を90%以上にする。 ②児童アンケートで「人のために行動することができましたか」という肯定的な回答を90%以上にする。

重点目標 3

規則正しい生活習慣を身につけ、心身の成長、発達につながる体力を向上させる。

評価項目：①遅刻の回数が多い場合には保護者に伝達し改善について考えてもらうなど、規則正しい生活習慣を学校と家庭が連携して取り組んでいくようにする。

②「生涯スポーツ」という言葉の通り、日常的に身体を動かし、自分自身の体力向上に取り組んでいく児童を育成する。

評価指標：①保護者アンケートで「児童の健康・体力の増進に努めている」という項目の肯定的な回答を90%以上にする。

②児童にアンケートで「自分から体を動かして遊んだり、運動したりしていますか」という項目の肯定的な回答を90%以上にする。

家庭や地域との連携

- ① 年1回の児童・保護者による学校評価アンケートの実施、学校評価の分析を行い、教育活動の改善を図る。
- ② 学校公開、保護者会、学校だより、ホームページ等を活用し、積極的な情報発信を行うことで、学校における教育活動の理解を深める。
- ③ 保護者との連絡ツール「tetoru」・児童との連絡ツール「classroom」を上手く活用し、家庭・児童との連携を図る。
- ④ 「本の森ちゅうおう」の活用を計画に入れ、児童の読書推進を図っていく。